

釜谷道路愛護會(石動土木出張所管内) 西礪波郡子撫村  
道路愛護會(石動土木出張所管内) 西礪波郡藪波村道路  
愛護會(石動土木出張所管内) 東礪波郡南山田村道路愛  
護會(石動土木出張所管内) 東礪波郡上平村赤尾谷道路  
愛護會(石動土木出張所管内) 氷見郡上庄村道路愛護會  
(氷見土木出張所管内) 氷見郡阿尾村道路愛護會(氷見土  
木出張所管内) 氷見郡神代村道路愛護會(氷見土木出張  
所管内) 氷見郡布勢村道路愛護會(氷見土木出張所管内)  
氷見郡十二町村道路愛護會(氷見土木出張所管内) 氷見  
郡八代村道路愛護會(氷見土木出張所管内)

## 千葉縣道路講習會開催

R · O 生

千葉縣の道路は、縣の地理的位置に因り、特殊な重要性を有するに拘らず、近年に至るまで殆んど改良を加へず昔時の姿のままに放擲し置きたるの觀があつて、「千葉へ行くならわらじはいて行きやれ、千葉は泥道田圃道」と云ふ様な民謡が唄はれはれないが「悪道千葉」の好ましくない名は關東一帯にたくえられて此不名譽を忍受しなければならぬ状態であつた。

千葉縣の道路が斯く甚しき不良の状態におかれたのには種々の原因もあらうが其の主要なるものとしては一、土質の不良。二、砂利碎石等の諸材料に恵まれなく、其の高價で「砂利と思はず錢と思へ」といつた様な標語さへ流布されて居ることである。而かも本縣が帝都に隣接せる關係上、其の影響を受けて、自動車交通の急激な發達増加がもたらされたことに因つて損傷甚しきを加へるに至つた。

是等の諸因が錯綜し所謂「悪道千葉」を現出したのであるが、更らに從來之に對する諸般の施設は極めて不十分であり、且消極的であつた、縣民もまた冷膽で道路改良に關しての熱意を缺くの憾がないのではなかつた。之れ寔に縣勢の進展上重大なる障碍となつたものである。昭和七年第一期道路改良計畫が樹立せられた當時、府縣道總延長數二、三三二軒中未改修に屬するもの實に一、八四〇軒其の中自動車の通行不能の道路延長のみでも六〇〇軒に達する状態に在つたのを見ても本縣道路が如何なる状態に在つたか、

窺知せられぬであらう。要するに本縣道路は全く近代交通の情勢に適應し得ざるの状態に在つたのである。

然るに昭和七年の交を轉期として本縣の道路は一新時期を劃し發展向上の機運に向つたのである。即ちその頃縣當局は道路改良の基本的計畫を樹立せられた、然かも偶々政府が國事業として實施せる時局匡救土木事業と相經緯して、全面的に道路の改良が行はるるに至つたからである。

一面先つ道路の維持保全の方面に於いても各職員の異常な

努力が、傾注せられて本縣道路交通發達の前途に輝かしき光明を望み得るに至つたのである。

最近に於ける本縣道路政策の指導精神は各地に謂はゞ假死の状態のまゝに存在してゐる多くの道路に活氣を注入し、之を全面的に活用し得る道路網の中に編入するに在る。更に具體的に言へば自動車の通行に堪へ得る程度の道路を少しでも多く開通せしめて、縣下道路の標準を全面的に高め依りて以て日と共に伸長し行く縣下産業の開發に對應せんとするに在る。

如斯事情の下に樹立せられた道路改良の根本方針（第一期道路改良計畫）であるが故に、自然にまた、最少の費用を以て、専ら最大の實質的效果を獲得することを直接の目標とする。此の根本的方針に獨り改修に於てのみでない、また鋪裝工事に於ても適用せられる。即ち現道を不取敢鋪裝して、現在路面の効率を極度にまで發揮せしめ行く方針が採用せられたのである。

昭和七年に樹立せられた第一期道路改良計畫も續いて同

十年に於て樹立せられた第二期道路改良計畫も共に此の精神に基くものである。前者は五ヶ年繼續事業とし總經費五百萬圓中二百五十萬圓を以つて改修に充て、自動車通行不能の路線中其の主要なものを改修し、同時に自餘の二百五十萬圓を以て重要路線の鋪裝を施工するに在つた。また目下實施中に在る後者は七年繼續事業とし、總額四百萬圓中二百六十六萬圓を改修に當て、其の内百五十萬圓を以て昭和九年の認定に係る新府縣道中の主要なるものを改修し百十六萬圓を以て右の新府縣道と密接な關係に在る事主要幹線及縣立公園計畫に聯關せる主要幹線の一部を改修せんとするものであつて其の豫定延長は二百四十四軒に達する。

また右の二改良計畫中に於て鋪裝に振り當てられた總經費は、三百四十二萬四千九百圓であつて、之が實施は殆んど碎石砂利の産出なき本縣特殊の事情を考慮し、周密な調査研究の結果に基きて進められた。斯くて近代交通の特色を成す高速度交通の必要に照應すべきのである。

今や如此縣下道路網の全面的な向上に伴ひ地方交通の大

動脈を成す主要幹線道路の改良もその必要が焦眉の急に迫つて來た。本縣道路の最大根幹である七號國道は幸にも昭和七年以來内務省の力によつて着々改修が進められ、昭和十三年度に於て一先づ完成を告げんとして居る。本線完成の曉は更にこの機能が著しく増大せられ本縣道路交通の發展に甚大なる貢獻をなすに至るであらう。六號國道は現在縣に於て僅かに松戸町地内を改良せるに止まるが、其の全線に互る改良の實施は本縣道路網の整備上極めて必要なるを以て、今後速かに之か促進に努めなければならぬ。

次に府縣道に於ける主要幹線の改良は、前述せる第一期及第二期改良計畫の外別に單年度豫算三十萬圓内外の程度を以て逐次進捗を示しつゝあるが、經費少額の關係上、顯著なる進展を期待し得ざる状態に在るは遺憾に堪へない。

之を要するに本縣道路は斯く最近數年の間に於て殆んど其の面目を一新した、之は固より政府當局の獎勵と助成と指導とに因る所の尠くない事は言を待たないが、又他の一面に於て縣民の道路改良の必要に對する深き理解と其の實

際に對する熾烈なる熱意とに基因する所極めて大なるものあるを見るのである。

現状は以上の如くなるも仍ほ本縣道路の改良開發は、未だ以て満足すべきものでない、今は唯其の緒に就きたるに過ぎないのであるから今後道路の全般的改修、鋪裝、主要橋梁の架線等一段の熱意と努力とを投げうたなければならぬ。

本縣道路改良の現状に鑑み更らに道路改良の智能と認識とを啓發せんとし日本ポルトランドセメント同業會の後援を得て今回左の通り道路講習會を開催した。

四月十三日

自〃	九時	開會ノ辭	千葉縣經濟部長	坂井	貞一
自〃	九時十分	會長挨拶	千葉縣知事	石原雅二	郎
自〃	九時三十分	道路改良及維持	千葉縣道路技師	今泉佳三	郎
自〃	九時五十分	セメントノ特殊	淺野セメント株	式會社	參事
自〃	十時	化傾向ニ就テ	式會社	參事	莊司
自〃	十時	道路構造	内務技師	菊地	明
自〃	十時	畫食休憩			
自〃	至午後零時三十分				

說苑

四月十四日

自〃	零時三十分	千葉縣ノ道路鋪裝	千葉縣道路技師	折坂理五郎
自〃	一時	路面選定ノ方針ニ就テ	内務省土木試驗所長	内務技師
自〃	二時	道路行政	内務省道路課長	内務書記官
自〃	三時	將來ノ道路計劃ニ就テ	内務省東京土木出張所長	内務技師
自〃	四時	映畫		谷口
自〃	四時			三郎
自〃	五時			
自〃	自午前九時	千葉縣ノ道路ニ就テ	千葉縣土木課長	地方技師
自〃	九時三十分	コンクリート鋪裝ニ於ケル二三ノ問題	内務技師	金子
自〃	九時三十分	道路技術者ヘノ希望	内務技師	金森
自〃	十時三十分	終了證書授與		誠之
自〃	至午後零時十分	來賓挨拶	日本ポルトランドセメント同業會	專務理事
自〃	零時十分	閉會ノ辭		川又
自〃	零時三十分	寫眞撮影	千葉縣道路主事	辰三
自〃	零時五十分	畫食		
自〃	一時	實地見學		
自〃	五時			

尙其の實地見學は左のプログラムに依つた。

四月十四日 (晴雨ニ拘ラズ)

午後一時 會場前集合

午後一時十分 出發(自動車)

〃 一時二十分 出洲プラント着、鋪裝材料混合場見學

〃 一時四十分 同所發

〃 一時五十分 千葉水源工場着、縣營水道見學

〃 二時三十分 同所發

〃 三時五十分 國道七號、府縣道千葉松戸線、國道六號見學

(車中)、高木村道路鋪裝工事場着(コンクリ

ート試験鋪裝延長三、五〇〇米) 同所見學

〃 四時 同所發

〃 四時二十分 松戸水源工場着、同所縣營水道見學  
〃 五時 松戸町解散

聽議員は市町村から二百五十名縣土木課から百二十三名  
銚子漁港から四名、水道事務所から一名、縣耕地課から七  
名、鐵道保線事務所から四名總計三百八十九名であつた、  
(但實地見學に加はつたのは三百八十三名)

本講習會の開催に依つて道路改良上の認識を一段と普及  
し得たるは信じて疑はざる所であるが其結實が路政上に現  
出さるゝのも敢て遠きにあらざるを期待する次第である。

# 山梨縣道路愛護會成績優良團體 褒賞授與式

## 山梨縣廳土木課

山梨縣に於ける道路愛護事業は昭和七年に規程制定以來

各町村の愛護思想普及し來り現在に於ては六十五團體の參